



# 本気・根気・元気

令和8年2月3日発行【第10号】

発行者：佐賀市立昭栄中学校

校長 川副 紀子

学校教育目標：夢に向かって たくましく 挑戦する生徒の育成 -自律・協働-

生徒会スローガン：初志貫徹～想いをカタチに～

## 新しい季節への節目

節分は、立春の前日にあたり、昔から「季節の変わり目」に災いを払い、福を呼び込む行事として大切にされてきました。「鬼は外、福は内」という掛け声には、病気やけが、心の弱さなど、自分の中にある鬼を追い出し、よりよい自分で新しい季節を迎えたいという願いが込められています。生徒一人一人が、この節目をきっかけに自分を振り返り、新しい目標に向かって前向きな一歩を踏み出してくれることを願っています。3年生は入試から卒業後の進路に向けて、2年生は学校及び生徒会活動の中心学年として。また、2年生は、今月19日（木）に立志式を控えています。決意表明をきっかけに、さらに飛躍してほしいと思います。1年生は中学校生活一年目をしっかりと振り返り、中堅学年に向けて力強い一歩を踏み出してほしいと思います。

## 先輩に学ぶ

1月22日（木）3、4時間目に2年生の総合学習で高校での学習や生活について学びました。本校卒業生の「生の声」を聞くことによって、生徒が自身の将来のキャリアや生き方について具体的にイメージし、自身の成長や目標設定に役立てることを目的に実施しています。この日は佐賀市内の私立高校の前期試験が行われていたことから、佐賀市内の龍谷高校、北陵高校、佐賀学園高校、佐賀女子高校、佐賀清和高校の5校から先輩を招き、各学校の特色を説明してもらいました。母校に凱旋した先輩たちは後輩に向けて、大変熱心に堂々とPRを行いました。本校2年生にとっては、パンフレットにはない、現役生ならではの生の声を聞くことができ、大変有意義な時間となりました。



## ものづくり体験教室

1月29日（木）5、6時間目に1年生の総合学習で佐賀県職業能力開発協会が主催する「ものづくり体験教室」を実施しました。この体験教室には次の2つの目的があります。

- ① 佐賀のさまざまな産業について知り、仕事の工夫や苦労を学ぶ機会とする。
- ② 佐賀でものづくりに携わっていらっしゃる方々の技術や仕事に対する意識に触れ、自分自身の進路選択についての考えや職業観についての考えを深める機会とする。

当日は下絵付け、苔玉作り、篆刻、和菓子づくり、ミニ畳づくりの分野の「ものづくりマイスター」の方々をお招きし、専門的な指導を受け、実際にものづくりを体験しました。優れた技をもつマイスターによる指導に目を輝かせながら真剣に聴き入り、ものづくりの楽しさと奥深さを実感する姿が見られました。



下絵付け



苔玉作り



篆刻



和菓子づくり



ミニ畳づくり